

第10回つくし路100km徒歩の旅
スタッフ強化合宿 スタッフテスト

1) 次の()をうめなさい。

13問×2点

生きる力とは、自分で(課題)を見つけ、自ら(学び)、自ら(考え)、(主体的)に判断し、(行動)し、よりよく(問題を解決する)能力
自らを(律しつつ)、他人と(協調)し、他人を(思いやる心)や(感動)する心など、
(豊かな人間性)とたくましく生きるための(健康や体力)と、中央教育審議会では、
これらの力を(生きる力)ととらえました。

2) 「つくし路100km徒歩の旅」の別名をなんといいますか？ 6つの別名を書きなさい。

6問×1点

限界への挑戦 魂と魂のぶつかり合い 自分探しの旅
新しい自分との出会い 人生の縮図 人生の師 限界への挑戦

3) つくし路100km徒歩の旅の心得を順番通りに、正確に6つ書きなさい

6問×1点

積極的な姿勢 謙虚な心 整理整頓
時間管理 全員参加 一日一生

4) 6月23日現在、ホームページ(HP)にアップされている第10回の学生スタッフは何名ですか。

(62名)

1問×2点

5) 次の()をうめなさい。

11問×2点

つくし路100km 徒歩の旅のモデルとなっている事業は(熊本)県で行われている、
(参勤交代・九州横断徒歩の旅)徒歩の旅という事業です。

子どもたちに伝えたいこと……(旅が終わった)時、付きそってくれた人、ひとり一人に心をこめてお礼をいおう。皆を連れて行くために(時間をさいてくれた)人に感謝し、機会をつくってくれた(家族)に感謝し、苦楽を共にした(仲間)に感謝し、よい経験ができたよるこびを態度であらわしましょう。旅が終わり、(一人でも多くの人に)感謝の思いを伝える事ができた人、人が(気づかない)事や、人が気づかない人に感謝ができる人が、この旅で多くの(財産)を手にした事になるでしょう。わたし自身はみなさんに感謝されたいと思って、この事業を実施しているわけではありません。ただ、わざわざ時間をさいて何かをしてくれたとき

第10回つくし路100km徒歩の旅
スタッフ強化合宿 スタッフテスト

には感謝をあらわすのがあたりまえである事を伝えたいと思っています。そして、そこに(**お陰様の**)精神・(**お互い様の**)精神がふたたびよみがえると考えます。

6)HPにUPされている救命・救護セミナーについてお尋ねします。 **8問×1点**

正しいものには、間違えているものには×をつけなさい。

肌が弱い人でも100kmの最中は紫外線対策をしても無駄である。……………(×)

100kmの完歩を妨げるのは一番の因子は、寝不足である。……………(×)

アスファルトの路面温度は100 を超える。……………(×)

過大救護はダメ、過少救護が教育上大事である。……………(×)

朝の健康チェックの事を、バイオチェックと言う。……………(×)

できれば給水ポイント近くは路面をぬらさない。……………(×)

出発前には必ずワセリンを塗りこんで足のみめ、またずれなどを予防する……………()

なるべく靴をぬらさない。……………()

7)ニートには4つのタイプがあります。4つのタイプ全てを書きなさい。 **4問×2点**

ヤンキー 型 **ひきこもり** 型 **立ちすくみ** 型 **つまずき** 型

8)親の5悪(過ぎたる5つ)を全て書きなさい。 **4問×2点**

過保護 **過干渉** **過許可** **過放任** **過期待**

9)次の()をうめなさい。 **3問×4点**

親と子供の距離間は大きく分けて3つあるといわれます。まずは、(**リード**)するです。子供は色々な面で経験不足であり知識不足です。これは人間誰も幼いころは当然です。だから、最初から何事も一人では出来ません。「最初から一人でやれ!」というのも無責任ですし子供にとっては無理な話です。次に(**サポート**)するです。これは子供が進もうとすることや、やろうとしている事を側面から、子供の自主性に任せて親が多少のお手伝いをしてやることです。

そして最後に(**見守る**)です。子供の自主性に任せて物事に組みませる事です。

名前 _____ 学校名 _____ 学年 _____ 年 _____